尼崎市立小田北中学校 学校通信

平成30年10月17日(水)

小田北だより 13号 10%

校長 北垣 裕之 TEL 6499-0005 FAX6499-0010

http://www.ama-net.ed.jp/school/J08/index.html



総合文化発表会・・行事の小田北・・クラスの絆を!

10月25日(木)・26日(金)に行われる総合文化発表会に向けて本格的な練習が始まりました。

『行事の小田北』の伝統を引き継ぎ、各クラスで "個人の力"を"集団の力"にしていくよう、頑張って合唱に取り組んでいます。これまでの様々な行事の中で成長してくれた小田北中生です。今回の行事でもきっと成長し、様々な経験をすることで、ク



ラスの絆を深めてくれる事でしょう。そしてクラス独自のハーモニーを響かせてくれるのを楽しみにしたいと思います。『<u>努力は足し算 協力はかけ算 協力の大敵は、0の存在 心に0の気持ちを作らない</u>』

平成 3 0 年度全国学力学習状況調査・・・結果報告

4月17日(火)に実施した全国学力・学習状況調査・・・本校3年生の結果をお知らせします。

学力面については(表 1 から)国語 A・数学 A どちらの教科も全国平均に比べて少し低い状況ですが、あと少しの努力で追いつけます。また、国語 B・数学 B・理科については、全国平均を上回る結果でした。点数だけにとらわれず、今後も各自の個人票をしっかり確認し、自分の弱いところを克服するため学習に取り組んでください。

学習状況・生活面では(表 2 から)「自分には良いところがある」「先生は良いところを認めてくれる」「毎日同じくらいの時間に起きている」等 80%を超えるうれしい回答がある反面、「家庭で学習する時間が少ない」、「TV・DVD・スマホ・携帯を触る時間が長い」等、改善して行かなくてはならない項目もあります。小田北中独自の取り組み「週末学習課題」を活用する等、しっかり家庭でも学習してください。

今の小田北中は、チャイムと同時に授業が始まり、落ち着いて学習出来る環境です。努力すれば、結果がついてきます。先生たちも精一杯の支援をしていきます。目標を設定して努力を続けましょう。

表 1 平均正答率

		国語A	国語B	数学 A	数学B	理科
		(知識)	(活用)	(知識)	(活用)	
本	校	7 5	6 2	6 5	4 7	6 7
全	玉	7 6 .1	6 1 .2	66.1	46.9	66.1

表 2 質問紙抜粋 (「あてはまる」「どちらかと言うとあてはまる」と回答)

	小田北	兵庫県	全 国
自分には良いところがある	82.7	7 9 .6	78.8
先生は良いところを認めてくれる	80.3	8 0 .1	8 2 . 2
いじめはどんな理由があってもいけない	93.4	9 5 .7	95.5
学校の規則を守っている	92.7	9 5 .9	95.1
毎日同じくらいの時間に起きている	93.4	8 9 .6	90.3
放課後は TV、DVD、ゲーム、インターネットで過ごす	86.9	8 0 .4	77.3
家庭学習1時間以上する	56.3	7 1 .5	70.6
自分で計画を立てて学習している	39.4	47.4	5 2 . 1
家で学校の授業の予習・復習をする	3 3 . 6	4 8 .0	5 5 . 2

3年生-入試シーズン突入です-(11月1日進路説明会)

9月26日(水)『平成31年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱説明会』がありました。正式に今年度の公立高等学校の入試の詳細が決定したということです。4年前から入試制度が変更され、受検可能な高等学校の範囲が広がりました。他市の生徒も尼崎市内にある高等学校が受検可能になりました。詳しくは、11月1日(木)の第2回進路説明会で話を聞いて、しっかり自分の進路について考えて欲しいと思います。

表彰関係

陸 上(阪神新人大会)

1年女子 800m;第1位 安田

共通女子 1500m;第 2位 安田

共通男子走り高跳び;第2位 小松

共通男子走り幅跳び;第3位 出口

柔道市内新人大会(団体戦)→阪神新人大会へ

男子優勝;今村・中田・末吉・大川・坂中・幸尻・鳴神

女子第3位;松井・西谷・隅谷

柔道若鮎杯(市内1年生大会)

団体優勝;新・山口・鳴神・岡田・坂中・田村女子ソフトテニス(阪神新人大会)

、」 クラース ース (Marting) ススカー 陶山・坂本ペア;ペスト 16→県新人大会出場

理科生徒作品展(青少年センターに展示されました)

濵名;「スミレの種子はスゴイ!」・品川;「イヤホンの実験」

中村;「銅イオンの動きを見る」・小助川;「もらった琥珀は本物か?」

赤澤;「こぼれない液体の研究」

兵庫県中学校総合文化祭

美術部門 特選 森 "ひまわり"

書写部門 特選 林 入選 松田・小山

技術家庭科作品展出展

小助川・江野澤・池田・上原





